## ◆◇ アネシス西宮グループホーム 2015年度年間研修計画 ◇◆ 2015年4月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
テーマ	『消防訓練』 ※DS合同・日中想定	『介護記録の理解』	『食中毒予防・蔓延防止』	『身体拘束・ スピーチロックを考える』	『倫理・法令遵守』	『看取り』
主催	リスクマネジメント委員会	介護主任	食事委員会	リスクマネジメント委員会	記録委員会	未定
実施 日時	4/24	5/18 • 5/19 • 5/21	未定	未定	未定	未定
内容	入居者・利用者を交え、日中に火災が起こった場合の 避難誘導を実践にて学ぶ。	記録の目的・必要性を主にリスクマネジメントの視点から学習する。健康・本人の管理だけに偏らず、が付けにないではがではないとや、どのように著らしているかが具体的にイをいるかが見ない記録を意識する。	食中毒のリスクが高まる時期を迎え、調理などの日常 業務に予防意識を反映させる。	「拘束」の中から「スピーチロック」に焦点を当て、実際に起りやすいと思われる現場での対応例を通して考える。入居者・利用者の側に立ってどのように感のかを話し合い、相手のペースや世界観を理解する大切さを学ぶ。	介護福祉士を始めとする介護福祉士を始めとする介護職員の定義や義務を学ぶ。どのような義務・責任があるのか、介護保険法に照らし合わせて考えると共に、実際に働いていて喜びや充実感に繋がった体験について意見交換する。	未定
テーマ		『認知症になったら…』		『事故報告書の作成』		『緊急時対応・ こんな時どうする?』
主催		計画作成担当者		介護主任		介護主任
実施 日時		5/30 • 6/2		未定		未定
内容		認知症の利用者として対応されることでどんな感情を持つか体験する。自分の認識している状況とのギャップを感じることで、普段の関わりを振り返るきっかけにする。		事故発生の事実を全職員・ 事業所全体で共有すること の大切さを学び、多くの視 点で多角的に分析すること で、専門職としての危機予 測が行えることを目指す。		繁思時に馬りず洛り着いて 判断・行動できることを目標とし、まず基本的な疾患や症状別の観察ポイントを学ぶ。シュミレーションを通して対応のイメージを掴み、自分で判断する姿勢を身に付ける。
テーマ	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』
主催	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会
実施日時	5/1	5/30	未定	未定	未定	未定

	10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月
テーマ	『消防訓練』 ※夜間想定	『"食べる"を考える』	『感染予防対策』	『高齢者虐待・介護放棄防止』	『接遇』	『個人情報 • プライバシー保護』
主催	リスクマネジメント委員会	介護主任 食事委員会	感染対策委員会	リスクマネジメント委員会	研修委員会	記録委員会
実施 日時	未定	未定	未定	未定	未定	未定
内容	入居者・利用者を交え、夜間に火災が起こった場合の 避難誘導を実践にて学ぶ。	摂食・嚥下のメカニズムを 正しく理解し、グループと ワークを通して感じたこ。 をもとに理解を深かか助を にまつわる全ての介助を にまつわる全ての介助を 拠に結び付けて考えること 、誤嚥や窒息のりまして、 、誤べや窒息の役割を に意識することを目指す。	基本的な感染予防の手順に加え、実際に物品を持ち出したり応援を呼んだりする。 動きを身に付ける。実際の業務に組み込み、入居者役を設定した上で、シュミレーションを実践形式で行う。	身体的虐待等の直接相手を 傷付けるものだけでなく、 介護放棄や契約不履行に繋 がりかねない環境整備や整 容、記録類の不備等、普段 の業務を振り返りつつ意見 交換を行い、情報提供や家 族とのコミュニケーション の重要性を再認識する。	未定	業務上のプライバシー保護とは具体的にどのようなことを指すのか、情報の漏洩だけでなく、日常会話の中で対象者を軽んじるような発言がないか、実際の振り返りを通して考える。
テーマ	『ケアプランの理解と 実践の流れ』				『第28回介護福祉士 実技試験対策講習』	『情報の伝達と活用・ ~知りたい情報とは~』
主催	介護主任				介護主任 研修委員会	介護主任
実施 日時	未定				未定	未定
内容	介護保険制度におけるケアプランの役割とその考え方を学ぶ。ニーズを的確に把握することで本人視点での生活の目標を立て、ICFの基本的な理解に加え、ニーズを汲み取る必要性を考える。				移動・移乗・更衣等、主に 身体介助を中心とした課題 を「基礎」「実践」「模擬 試験」の3段階に分けて習 得する。実際に課題を作成 し、時間の計測を行いなが ら、試験と同様の形式で繰 り返し行う。	情報収集・申し送りの必要性や注意点を理論的に学習し、合理的かつ目的に沿った実施を目指す。また、直接業務だけでなく、情報管理もチームワークの一環であることを学ぶ。
テーマ	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』	『定期・避難訓練』	『定期・緊急時対応』
主催	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント委員会
実施 日時	未定	未定	未定	未定	未定	未定